
目次

【1】 --- 教員コラム第 14 弾 第 4 回

「過去・現在・未来の図書館と私」化学教室 / 大庭 誠

【2】 --- ProQuest 電子ブック 18 万冊をトライアル提供中

【3】 --- 医 5 年、医 6 年生も図書館個人閲覧室を使えます

【4】 --- 古本募金再開と事前査定のお願い

【5】 --- 伝わる英語論文を書くための英語のコツ

[Book Review] …… 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム第 14 弾 第 4 回

「過去・現在・未来の図書館と私」化学教室 / 大庭 誠

あまり読書をしない私にとって、高校生のときまで、図書館は近くて遠い存在でした。大学生になり、大学の図書館が試験勉強を行う場所となりました。一人暮らしの家には、テレビ、ゲーム、漫画など、様々な誘惑があります。静穏な図書館には同じように机に向かっている学生がたくさんいて、また、同じ試験の勉強をしている学生もいます。わからないことがあればすぐに聞くことができ、試験に関する情報も得られます。エアコンも効いていて、図書館は試験勉強するには絶好の場所でした。大学院生になって研究を行うようになり、図書館は文献調査をする場所となりました。当時はまだ電子ジャーナルが発達していなかったので、最新の論文も図書館まで（もしくは学部にある図書室まで）行って閲覧していました。研究室で行っていた、最新の論文を紹介する抄読会で発表するときは、図書館に缶詰状態で、過去の文献も調査しながら資料を作成しました。古い文献が山のようにある書庫の独特の匂いが、意外と好きでした。

最近あまり図書館に足を運ばなくなりました。一番の理由は、インターネットと電子ジ

ジャーナルが普及したからだと思います。パソコンがあれば最新の研究成果が掲載された論文に簡単にアクセスできます。古いものに関しても、大学が所有しているかどうかを簡単に検索でき、所有していない場合は他大学等から取り寄せてもらえます。自分はパソコンの前で何かしらの操作をすれば、文献が手元に届くわけです。欲しい情報を得るための効率是非常によくなりました。しかしながら、パラパラ雑誌を流し見しているときに偶然におもしろそうな研究を見つけ、自身が行っている研究のヒントとなる、そのようなことはなくなりました。

この20年間で、図書館をめぐる環境は大きく変化しました。それに伴い、私と図書館との関係も大きく変わりました。おそらく、これからの20年間でも、様々な科学技術の発展や時代の変遷とともに、図書館は再び大きく変わると思います。そのときに自分は、図書館とどのようにつきあっているのか。普段、図書館について改めて考えることはありませんが、このコラムを書くにあたって、過去・現在・未来の図書館について考える良い機会になりました。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- ProQuest 電子ブック 18万誌をトライアル提供中

.....

大学出版局や主要出版社が発行する電子洋書籍 18万タイトルを集めた、[Academic Complete](#) をトライアルで提供しています。

医学関連の他に、科学技術、芸術、ビジネス、教育、一般、歴史、法律、文学、宗教、社会学などを含みます。チャプターごとにダウンロードすることができ、電車などオフラインでの利用も可能です。

アクセス先：<https://ebookcentral.proquest.com/lib/kyotop-ebooks/home.action>

期間：2020/11/15(日)まで

【3】 --- 医5年、医6年生も図書館個人閲覧室を使えます

.....

図書館はコロナ対策のため制限開館中ですが、館内に5室ある[個人閲覧室](#)はご利用いた

だけです。この部屋は教職員と大学院生用ですが、国家試験の学習等に活用してもらおうべく、医学部5・6年生にも利用範囲を広げています。

<学部学生の利用条件>

■当日、空きがある場合（予約は不可）

※前日までの予約状況は [\[空室情報\]](#) で確認できます。

要 ID/PW [パスワード一覧表](#)

一覧を開くために必要なパスワードは図書館へお問合せください。メール (libej@koto~) または電話(9400)にて受け付けています。学内者限定のため、必ず所属とお名前をお知らせください。

■先着2室まで

【4】 --- 古本募金再開と事前査定のご願い

.....

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休止していた『KPUM 図書館サポートプログラム 古本募金』の受付を、9/16(水)より一部変更の上、再開しています。引き続き、プロジェクトへの御協力をお願いします。

<[寄付になるもの](#)>

- ・2011年以降に出版された本、CD、DVD / 書き損じはがき
- ・ISBNがついている本

※一部専門書は出版年に関わらず値がつく場合がございます。「[お試し査定](#)」で、事前に査定可能な本が仕分けできます。

◆学内には、従来通り回収箱を設置しています。

◆個人で直接ご寄付いただく場合の申込方法が変更されました。

「[チャリボン](#)」サイトにて受付。申込はWebサイトのみとなりました

※charibon(チャリボン)：寄付者より書籍、DVDなどを集めて換金し、社会的な課題解決をめざす団体(NPO・学校・自治体)に寄附する仕組み。

◆お問合せは[図書館](#) (内線 5404)まで。

【5】 --- 伝わる英語論文を書くための英語のコツ

.....

クラリベイト・アナリティクス社より、Web セミナーの案内です。
『伝わる英語論文を書くための英語のコツ』～動詞を活かしてシンプル明快に研究を説明しよう！研究成果を適切に報告しよう！～

日時：2020/9/24(木)15:00-15:45

参加対象：研究者・大学院生・図書館員など、研究および研究支援に関わる方

参加費：無料

講師：中山裕木子氏(株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役)

クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社 サイエンス事業部

登録：[こちら](#) プラットフォームは Cisco 社 Webex Events

『会話もメールも英語は3語で伝わります』の著者であり『ACS スタイルガイド アメリカ化学会 論文作成の手引き』の翻訳者を講師に迎え、英語論文のアブストラクトを効果的に書く方法についてご紹介いただきます。

前回(2020/4/23)実施した第1弾をオンデマンド版でご覧いただけます。

【研究生活でつまづかないために！】

[あなたが『本当に読みたい』英語論文を早く的確に探す方法](#)

※本学は Web of Science は契約しておりません。JCR(インパクトファクター)を購読しています。

[Book Review]

.....

沖田×華著「お別れホスピタル」(小学館 2018)

『お別れホスピタル』は終末期病棟の話です。

にぎやかな見舞客のある寝たきりの白井さんを妬んで、使用済みのオムツ(パンツ)を投げ込む、隣の大戸屋さん。

奥さんのことが大好きな 85 歳の大西さんを取り合う、79 歳 独身の犬井さんと 10 年前にご主人を亡くした 76 歳の堀川さん。二人は大西さんを巡って日々喧嘩をするが、大西さんが亡くなると『退院したのよ』『あなたの気持ちわかるわ』『実はわたしも好きな人が

ここにいたの・・・』と少々ずれた会話で慰め合うようになる。『延命治療をしておじいちゃんを死なせないで!』と医師に懇願し、亡くなった時には『他の病院にすればよかった・・・』と文句を言う年金目当ての派手な家族。抗ガン治療をすれば延びる命を『これ以上金のかかる治療はするな! もうビター文出さない!』と言い切る息子。その声をベッドで聞き涙する母親。

様々な患者と家族に翻弄される看護師たちの本音に『ですよー』と同感する。このコミックは絵がゆるい。しかし、このゆるい絵が、現実の厳しさを薄めて受け止めさせてくれている。(A.M.) (第2 閲覧室 490.4|10)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4098600579>

.....
図書館メール News 第 422 号 2020.9.18 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/websevice/mailnews.html>